

各 位

会社名	ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社
代表者名	代表取締役社長兼CEO 八木 健
金融商品取引業者	登録番号 関東財務局長(金商)第397号
加入協会	一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会
問い合わせ先	管理部 岩田 浩明 03-5210-3342

「サプライチェーン・ファイナンス・ファンド」新規設定に関するお知らせ

ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：八木健 以下、「当社」）は、包括的な運用業務提携契約を締結する Siegfried Asset Management Limited（以下、「Siegfried 社」）が運用を行うサプライチェーン・ファイナンス戦略（以下、「SCF 戦略」）に特化した外国籍投資法人（目標リターン 4%以上、運用報酬及びヘッジコスト控除後）発行の有価証券を投資対象とする私募投資信託「サプライチェーン・ファイナンス・ファンド M 2021-06（適格機関投資家私募）」（以下、「当ファンド」）を、2021年6月25日に新規設定致しましたのでご案内申し上げます。

SCF 戦略は、フォーチュン・グローバル 500 に代表される投資適格な日米欧を中心とした大手企業（Amazon、Costco、ブリヂストン等の輸入企業）の買掛債務を投資対象とします。これら企業が中国及び東南アジア圏の中小企業（輸出企業）より商品を輸入する際に、SCF 戦略は輸出企業に対して資金決済までつなぎ融資を提供することで信用格付対比で高い利回りを獲得できる点が特徴です。同融資では、輸出企業の運転資金需要や資金借入れ環境を反映した高い金利が設定される一方、貿易代金を支払う輸入企業の信用格付が投資リスクと見なされるため、グローバル企業の他の短期債務に比べて非常に有利な利回りが得られます。また SCF 戦略は、グローバルなサプライチェーンを構成するものの、銀行融資を受けることが困難な中国及び東南アジア圏の中小企業に対して解決策を提供します。円滑で健全なサプライチェーンの運営と維持は新興国における貧困解決等の目標を掲げる SDGs(持続可能な開発目標)や ESG の観点からも注目されており、SCF 戦略はリターン獲得の他に社会貢献にも寄与する投資です。

SCF 戦略の運用を担う Siegfried 社は 2015 年に設立され、香港及び台湾を主な拠点として、これまで東アジアや欧州、米国の顧客資金を運用して参りました。当ファンドが新規設定されたことで、本邦投資家が SCF 戦略に初めて加わることとなります。Siegfried 社は当運用を行うにあたり、高度な IT 技術を駆使し中国及び東南アジア圏で最大級のファクタリング・プラットフォームを運営する VTeam Financial Service Group Corp.（以下、「VTeam 社」）と提携しています。中国及び台湾に主要拠点を置く VTeam 社は、過去 20 年間の取引データをベースに輸入企業と輸出企業の信用リスクを抑制し、不良品納入リスク等も回避することで、2013 年の同プラットフォーム設立以降 SCF 戦略が対象とする国際貿易においてデフォルト（融資資金の回収不能）ゼロの実績を誇り、売掛債権二重譲渡を回避する特許を含め 10 件の国際特許を取得しています。

なお、当ファンドは単位型での設定となりますが、SCF 戦略に特化する別の外国籍投資法人（目標リターン 2.5%以上、運用報酬及びヘッジコスト控除後）発行の有価証券を投資対象とし、月次での追加設定及び週次での解約が可能な「サプライチェーン・ファイナンス・ファンド W（適格機関投資家私募）」も 2021年6月30日に新規設定予定です。

当社は、株式、債券、マルチ・アセット、そしてプライベート・アセットのアクティブ運用に特化した日本の独立系ブティックハウスのパイオニア、そしてリーダーとして、創業来 23 年以上に亘り洗練された運用商品を提供して参りました。おかげさまで、年金基金を含む機関投資家から個人投資家に至るまで幅広い顧客層よりご信頼を頂き、約 4,008 億円（2021年3月末現在）の契約資産を擁する国内最大級の独立系運用会社へと着実に成長を遂げることができました。今後も引き続き、高品質なクライアント・サービスを提供する独自のプラットフォームの上に、自社運用商品に加え、Siegfried 社を始め海外の秀逸な運用ブティック等による商品群を取り揃えることで、日本における本格的なマルチ・ブティック型運用会社を目指す所存でございます。

以上

当ファンドに係る留意事項

投資リスク

当ファンドは、外国籍投資法人の発行する値動きがある有価証券等に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。

当ファンドの主要なリスクには、国際貿易に係るリスク・信用リスク・為替変動リスク・カントリーリスク・流動性リスク等がありますが、上記に限定されるものではありません。

従って、投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

ファンド費用

「サブライチェーン・ファイナンス・ファンド M 2021-06 (適格機関投資家私募)」

運用管理費用 (信託報酬) : 日々の信託財産の純資産総額に対して上限年率 0.682% (税抜 0.620%)

「サブライチェーン・ファイナンス・ファンド W (適格機関投資家私募)」

運用管理費用 (信託報酬) : 日々の信託財産の純資産総額に対して上限年率 0.462% (税抜 0.420%)

費用の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することが出来ません。

本資料は、プレスリリースの為に、運用会社であるベイビュー・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、特定の取引や商品あるいは有価証券の勧誘ないし推奨を目的としたものではありません。本資料は目的の如何を問わず、その全部または一部を当社の許可なしに複製・複写・転記する事、及び第三者に開示することを禁じます。